

あなたの困りごとが、新しいビジネスに?!

🌱 サービス創造の種を見つけよう 🌱

日常生活の中で感じる、ちょっと不便なことや不満なこと。そんな「困りごと」を、
企業にぶつけてみませんか？ 企業がビジネスとして解決に乗り出したくなるような、
多くの人々が共感する「困りごと」のエピソードを大募集します！

あなたの困りごとを受けて立つ企業は、
サービス創造学部の学びをサポートする「公式サポーター企業」62社。
多彩な業種の中から1社を選んでご応募ください。詳細はこちらから！



サービス創造大賞 2023



応募の詳細

「困りごと」を400文字以内で 教えてください。

日常生活の中で、とても困ったこと、今まさに困っていること、ありますよね？ そうした困りごとの中に「サービス創造の種」があります。あなたが日常生活の中で、過去に経験した困ったこと、あるいは今も困っていることを、具体的なエピソードとともに教えてください。そしてそれを解決してくれそうな企業を、サービス創造学部の公式サポーター企業※の中から1社、指名してください。

応募のあったエピソードのうち「サービス創造の種」になりそうなエピソードを表彰します。また、指名した公式サポーター企業から実際にコメントをいただけるかもしれません。あなたの困りごとが新しいサービスの創造につながるチャンスです。

全国の高校生の皆さん、ぜひ奮ってご応募ください！

※サービス創造学部の公式サポーター企業とは、千葉商科大学 サービス創造学部の教育にご理解、ご協力していただく企業です。

審査基準

- その困りごとを多くの人々が共有しているか
- その困りごとをすでにどこかの企業が解決していないか
- 発想や着眼点がユニークかどうか
- エピソードが具体的に記述されているか
- 文章が正確で分かりやすいか

応募のヒント

あなた自身だけでなく、周りの人も感じている困りごとや、将来問題になりそうな困りごとなど、視野を広くして考えてみてください。それを解決してくれそうな企業をどう選ぶかもポイントです。

応募例

下記を参考に、具体的なエピソードを含めてご応募ください。〇〇〇〇の中の企業名は公式サポーター企業の中から1社選び、指名した理由も合わせて教えてください。

例
その1



プラゴミの分別をもっと

ペットボトルは分別されているが、弁当などのプラスチック容器も本来リサイクルできるはず。どうすれば分別が進みますか？

指名企業 ▶ 株式会社〇〇〇〇〇〇

指名理由 ▶ 売るときやゴミ箱などで工夫ができそうだから。

例
その2



自転車通学が怖い

車道を走ると路上駐車が多くて避けるのが怖いし、歩道を走ると歩行者とぶつかりそうになります。何かいい方法はないですか？

指名企業 ▶ 〇〇〇〇〇株式会社

指名理由 ▶ 安全に対する解決策を持ってほしいから。

例
その3



若者の投票率が低いこと

選挙に行く人が周りに少ない。みんなが政治に関心を持たないままだと、将来良くないことになるのでは？と不安に思っています。

指名企業 ▶ 〇〇〇〇〇株式会社

指名理由 ▶ メディアの力を生かして解決してほしいから。

サービス創造大賞 2023 募集概要

- 課題：「サービス創造の種を見つけよう」
- 募集期間：2023年7月1日(土)～9月30日(土)
- 応募資格：全国の高校生
- 賞：大賞 1件 (3万円)
優秀賞 5件 (図書カード1万円)
高校賞 30校まで (図書カード2千円)
※高校を通じて10名以上の団体応募の場合、各校から1名選定

エントリーは
こちらへ



PC・タブレット



スマートフォン

詳しくはWebへ！

主催 千葉商科大学 サービス創造学部

お問い合わせ 学部事務課 サービス創造学部担当 e-mail:os-fsi@cuc.ac.jp

サービス創造大賞2023

検索